

京都大学動物実験計画書

部 局 長 殿

京都大学における動物実験の実施に関する規程第10条の規定に基づき、下記の通り申請します。

新規 変更 継続 (旧承認番号)

提出年月日	年 月 日	受付年月日	年 月 日	受付番号	
-------	-------	-------	-------	------	--

1) 研究課題名	
----------	--

2) 研究目的	
---------	--

3) 動物実験 責任者	部局名:	分野等の名称:
	職名:	所属分野等長の氏名: 印
	フリガナ:	連絡先 TEL:
	氏名: 印	e-mail:

4) 動物実験実施者 及び飼養者	
<small>氏名に続き()内に職名等を記入すること</small>	

5) 実験実施期間	承認後 ~ 年 月 日	中止・終了等	年 月 日
-----------	-------------	--------	-------

6) 施設等	飼養保管施設	実験室	
--------	--------	-----	--

7) 使用動物	動物種	系統名	頭数	微生物学的品質	入手先 (導入機関名)	備考

8) 研究計画と 方法	研究概要 (研究計画と方法について、その概要を記入する)
	実験方法 (動物に加える処置、使用動物数の根拠を具体的に記入し、「想定される苦痛のカテゴリー」や「動物の苦痛軽減・排除方法」等と整合性をもたせる)

9) 特殊実験 区分 (該当項目 全てに印)	1. 感染実験 安全度分類: BSL1 BSL2 BSL3
	2. 遺伝子組換え動物使用実験 区分: P1A P2A P3A
	3. 放射性同位元素・放射線使用実験
	4. 化学発癌・重金属実験等
10) 動物実験の 種類	1. 試験・研究 2. 教育・訓練 3. その他()
11) 動物実験 を必要とする 理由	1. 検討したが、動物実験に替わる手段がなかった 2. 検討したが、代替手段の精度が不十分だった 3. その他()
12) 想定される 苦痛のカタ ゴリー	B. 脊椎動物を用い、動物に対してほとんど、あるいはまったく不快感を与えないと思われる実験
	C. 脊椎動物を用い、動物に対して軽度のストレスまたは痛み(短時間持続するもの)を伴うと思われる実験
	D. 脊椎動物を用い、回避できない重度のストレスまたは痛み(長時間持続するもの)を伴うと思われる実験
	E. 無麻酔下の脊椎動物に、耐えうる限界に近い、またはそれ以上の痛みを与えられると思われる実験
13) 動物の苦 痛軽減、排 除の方法 (該当項目 全てに印)	1. 短時間の保定・拘束および注射など、軽微な苦痛の範囲であり、特に処置を講ずる必要はない
	2. 科学上の目的を損なわない苦痛軽減方法は存在せず、処置できない
	3. 麻酔薬・鎮痛薬等を使用する(具体的薬剤名及びその投与量・経路を記入)
	4. 動物が耐えがたい痛みを伴う場合、適切な時期に安楽死措置をとるなどの人道的エンドポイントを考慮する(具体的に人道的エンドポイント適用の目安を記入) ※12)でDまたはEを選択した場合は必須
	5. その他(具体的に記入:)
14) 安楽死の 方法 (該当項目 全てに印)	1. 麻酔薬等の使用(具体的薬剤名及びその投与量・経路を記入。なお、エーテルによる安楽死は原則禁止)
	2. 炭酸ガス
	3. 中枢破壊(具体的に記入:) 法)
	4. 安楽死させない(その理由を記入:)
15) 動物死体 の処理方法	1. 飼養保管施設に委託(施設名:)
	2. その他(具体的に記入:)
16) その他必 要または参 考事項	(過去の動物実験計画書承認実績、学内の関連委員会への申請状況などを記入する)
17) 前年度 の使用動物 種・頭数(3月 分は概算可)	

部局動物実験 委員会記入欄	審査終了: 年 月 日
	修正意見等
	審査結果
承認欄	承認: 年 月 日
	本実験計画を承認します 承認番号: 第 号 部局長 印